Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平成30年9月28日 九州地方整備局 大分河川国道事務所

「大分川・大野川河道管理環境検討委員会」の開催

~「治水」と「環境」の両立を目指して ~

大分川水系及び大野川水系の河道掘削や樹木伐採に関して、有識者からの環境面の助言を受けることにより、河川整備や維持管理のより一層の充実を図ることを目的として、「大分川・大野川河道管理環境検討委員会」を毎年開催しています。

今年度の河川工事においても、環境に配慮した工事を実施するために、下記のとおり委員会を開催します。

記

- ◇日 時:平成30年10月4日(木) 14時00分~16時00分(予定)
- ◇場 所:大野川防災ステーション((別紙−1)をご確認ください)
- ◇内 容:別紙の「議事次第(案)」(別紙-2)を予定

◇その他:

- ○会議では貴重な動植物等についての議論も行うため、一部非公開とします。 ((別紙-2)のとおり)
- ○降雨により水防体制等に入る場合は中止します。
- ○大分川・大野川河道管理環境検討委員会の概要については、「別紙−3」または 事務所ホームページでご確認ください。

(http://www.gsr.mlit.go.jp/oita/oshirase/171107/oshirase171107.html)

お問い合わせ先:国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所

河川副所長 太田 信也河川管理課長 福島 研一郎

大分市西大道1-1-71 TEL 097-544-4167 (代表)

FAX 097-546-4796

大分河川国道事務所 ホームページ http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/

ツイッター https://twitter.com/mlit_oita



平成 30 年度 大分川·大野川河道管理環境検討委員会

日 時: 平成30年10月4日(木)

 $(14:00\sim16:00)$

場 所:大野川防災ステーション

乙津川海原橋、別保橋付近

〔議事次第(案)〕

- 1. 開 会
- 2. 挨 拶
- 3. 議事
 - 1) 事務局からの報告事項 (委員会の取組紹介に関する受賞報告 等)
 - 2) 国交省の事業取組紹介 (乙津川河口域における干潟環境の復元への取組)
 - 3) 平成29年度委員会の結果について

※ 非公開部分

- 4) 平成30年度以降の施工予定箇所等について
- 5) 環境特性を考慮した河道管理手法の検討
- 6) 意見交換
- 7) 現地視察
 - 乙津川海原橋付近
 - 乙津川別保橋付近
- 4. 閉 会

「治水」と「環境」の両立を目指して!

大分川・大野川河道管理環境検討委員会における環境配慮の取組 ~

【 委員会の概要 】

大分川水系及び大野川水系の河道掘削や樹木伐採に関して、 有識者からの環境面の助言を受けることにより、河川整備や維持 管理のより一層の充実を図ることを目的に、平成20年に設立。 毎年1回開催し、現在までに10回を開催しています。

【 委員会の構成 (H30.10月時点)】

- ・委員長:河川工学の有識者
- ・各委員:動植物や漁業関係の有識者(11名) 河川水辺の国勢調査アドバイザー※、河川環境保全モニター、内水面漁業協同組合ほか ※魚類·植物·底生動物·両生類·爬虫類·哺乳類·鳥類·昆虫類

【 委員会の内容と工事における環境配慮の進め方 】



検証結果の反映

事前調査を行い、環境への配慮事項を検討。



各委員に個別説明し、配慮事項の助言を仰ぐ。



個別説明

再 検 討

配慮事項の見直し及び 施工前に工事に反映。



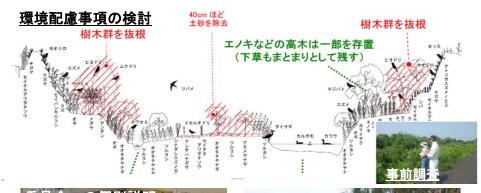
現地配慮箇所へのマーキング 施工者との現地確認



環境への配慮事項 及び 配慮状況を確認。 ※工事初期段階を基本

モニタリング

工事後の環境変化や配慮事項の効果検証。













【 河道掘削や樹木伐採といった 工事における環境配慮の具体例 】

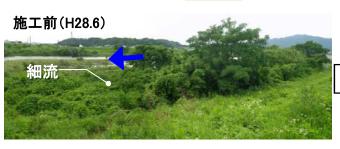
特に環境に配慮すべき場所で、河道掘削や樹木伐採といった工事を実施する場合は、有識者の 助言により、環境への配慮事項を検討し、それを施工現場へ反映させて、工事を実施しています。













【 環境配慮の事例 】 ワンド(たまり)の保全

河道の中でも特異な環境の場となっている「ワンド(たまり)」について、 有識者の意見を踏まえながら、洪水の流下に支障のない範囲で保全しています。





施工後もワンドで確認された重要な湿性植物 ▼





【 環境配慮の事例 】 礫河原の創出

河道内の樹木の伐採に伴い、有識者から助言のあった貴重な 昆虫が存在する水際の礫河原について保全を行いました。 樹木の伐採後に発生した洪水により、保全箇所の上流に新たな 礫河原が創出され、河川らしい景観も形成されています。







